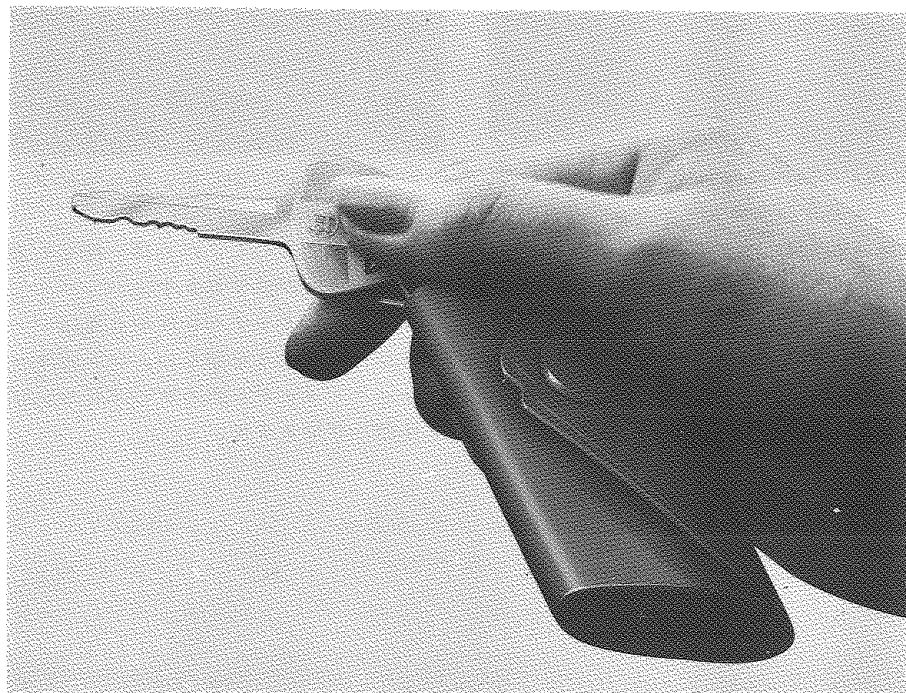


エンジンの始動

CORONA *MARK II* VAN・PICK-UP



キャブレターには、オートマチック・チョークがついています。エンジンが冷えているときは、自動的にチョークをし混合気を濃くして、エンジンの始動を容易にしております。

次の要領でエンジンを始動してください。

1. パーキング・ブレーキをかけ、シフトレバーをニュートラルにします。
2. アクセル・ペダルをいっぱい踏みこんで離すとオートマチック・チョークが働きます。アクセル・ペダルを踏みこむ回数は外気温によって次のように行なってください。

外 気 温	アクセル・ペダルを踏む回数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

3. クラッチ・ペダルを踏み込んだ状態でエンジンを始動してください。このとき、アクセル・ペダルから足を離しておいてください。

4. 始動後、暖機を十分行なってくださ

い。このとき、オートマチック・チョークが働いて、アイドル回転数がいくぶん高目となり、暖機を助けております。

5. 暖機後、アクセルペダルを一度軽く踏んでください。これにより、オートマチック・チョークの働きがなりなり、正規の回転数にもどります。

《注意》

1. スターター・モーターは10秒以上使用しないでください。10秒以内で始動しない場合、30秒位休み、バッテリーの回復をまってから、再始動してください。
2. 始動後、エンジンの回転が円滑に持続しないときは、アクセル・ペダルを軽く踏み、回転が円滑になるよう助けてやってください。